

北九州市の都心周遊バス利用者の特性について

九州工業大学大学院工学研究科 学生会員 岩穴口直
 九州工業大学工学部 非会員 大和満生
 九州工業大学大学院工学研究科 正会員 寺町賢一
 九州工業大学大学院工学研究科 正会員 渡辺義則

1. はじめに

小倉都心部においては、交通の要所である小倉駅や北九州市役所・九州厚生年金会館等の公共施設、小倉井筒屋などの商業施設が集積しており、多くの人々が都心を立ち回っている。しかし、以前は都心を立ち回る人の約90%は徒歩で、公共交通機関はあまり使われず回遊性は低い状態にあった。また、自家用車を利用した都心への流入により交通渋滞も多く、都心を循環する公共交通機関に対する利用意向は高かった。

このような背景において、北九州市は回遊性の改善や公共交通機関の利便性の向上を主な目的とした「小倉都心周遊バス」の試行実験を行い、現在は西鉄バスが運行主体として、小倉駅バスセンターを起終点とする魚町・九州厚生年金会館・小倉北区役所・市立医療センターなど主要施設を経由するルートで運行されている。本研究は、試行実験時に行われた都心周遊バス利用者アンケート調査を基に、都心への連絡性や都心部での回遊性を分析することにより、都心周遊バス利用者の特性について明らかにしたものである。

2. 都心流入時の特性について

調査結果を基に分析をした結果、次のような特性を得た。

- (1) 都心流入時において、都心周遊バス利用者の90%以上は1つの交通手段を利用している。また、その交通手段は都心発では主に徒歩、小倉北区発では主に路線バス、他区発では主に路線バスとJR、他市町村発では主にJRと出発地によって異なっている(図-1)。

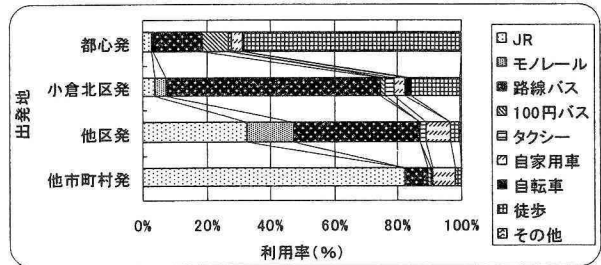


図-1 都心流入時の交通手段

- (2) 出発地別に具体的な特性は次のようになる。

- 都心発については、約90%が大手町・金田地区から出発し、徒歩の約60%は九州厚生年金会館前・大手町バス停など近隣のバス停から周遊バスに乗車している(図-2)。
- 小倉北区発については、様々な場所から都心に流入し、路線バス利用者の約50%は小倉駅周辺のバス停で下車している(図-3)。
- 他区発については、各区から出発し、路線バス利用者の約50%は小倉駅周辺のバス停で、JR利用者の約80%は小倉駅でそれぞれ下車している(図-3, 4)。
- 他市町村発については、各地域から出発し、JR利用者の約80%は小倉駅で下車している(図-4)。

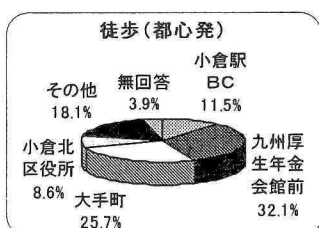


図-2 都心周遊バスの乗車バス停

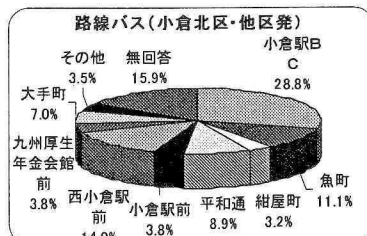


図-3 都心流入時の降車バス停

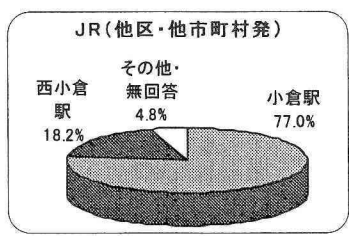


図-4 都心流入時の降車駅

3. 都心部における都心周遊バス利用特性について

都心部での利用特性については出発地別に分析を行った。その結果を以下に示す。

- (1) 都心発では、九州厚生年金会館前・大手町から小倉駅 BC への利用が都心発全体の約 25% を占めている。また、平日では買物と通勤、休日では買物と娯楽が主な交通目的である。
- (2) 小倉北区発では、小倉駅 BC から九州厚生年金会館前・大手町への利用が小倉北区発全体の約 15% と最も多い。また、平日は帰宅と通院、休日は帰宅と娯楽が主な交通目的である。
- (3) 他区・他市町村発については、小倉駅 BC から九州厚生年金会館前・大手町への利用がそれぞれ全体の 20~40% を占める。また、ともに平日は通勤、休日は娯楽が主な交通目的である。
- (4) 出発地に関わらず、70% の人は都心周遊バス降車後にバス停から 200m 以内の施設に立ち寄っている (図-5)。また、都心周遊バス降車バス停や立ち寄り施設は交通目的によって数ヶ所に集中する等 (図-6)、交通目的・降車バス停・立ち寄り施設には強い関わりがあると言える。

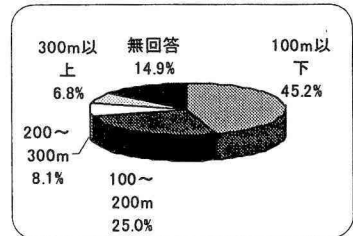


図-5 都心周遊バス降車バス停と立ち寄り施設の直線距離の関係

4. 都心部における回遊性について

- (1) 都心周遊バス運行前の交通手段は、出発地・性別・年齢に関わらず路線バスが約 50% を占める主要な交通手段で、次は徒歩が約 20% と路線バスを補完していた (図-7)。
- (2) 都心周遊バス利用者全体の約 25% は都心部での立ち寄る施設が増え、都心・小倉北区発で特に多い (図-8)。なお、都心周遊バス運行前交通手段・年齢によらず約 30% は立ち寄る施設が増えている。

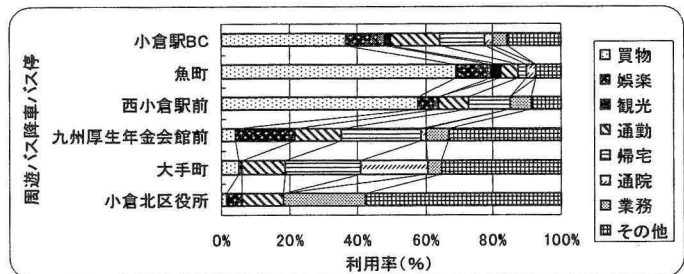


図-6 都心周遊バス降車バス停と目的の関係

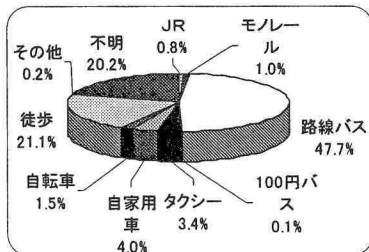


図-7 都心周遊バス運行前交通手段

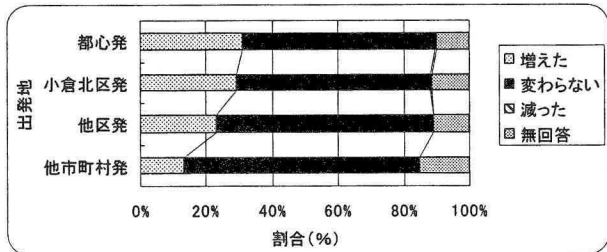


図-8 立ち寄り施設数の変化 (出発地別)

5. 結論

- (1) 都心流入時における交通手段は出発地 (都心・小倉北区・他区・他市町村) によって異なる。
- (2) 都心発については、大手町・金田地区から出発して、九州厚生年金会館前・大手町バス停から小倉駅 BC へ、主に買物・通勤・娯楽を目的として周遊バスを利用する。
- (3) 逆に小倉北区・他区・他市町村発については様々な場所から都心へ流入し、小倉駅 BC から九州厚生年金会館前・大手町バス停へ、主に通勤・帰宅・娯楽を目的として利用する。
- (4) 都心周遊バス運行前の交通手段は、出発地・性別・年齢に関わらず路線バス・徒歩が主要であった。
- (5) 都心周遊バス利用者においては回遊性が改善されており、特に都心・小倉北区発での改善度は高い。